

# 守ろう！花と緑と清流のまち

環境課総務係 ☎(64)3194

平成20年度の鹿沼市の環境実態をまとめた、鹿沼市版の環境白書「かぬまの環境」を発行しました。この報告書は、環境基本計画の5つの柱ごとにまとめられています。

みなさんも「かぬまの環境」を読んで、鹿沼市の現状を把握し、これからの環境問題について考えてみませんか。



▶環境クリーンセンターのほか、図書館、市役所の市政情報コーナー、各コミュニティセンターに設置されています。また、市ホームページでもご覧になれます。

## 環境にやさしいまち かぬま

市では、平成16年1月1日に「環境都市宣言」をしました。きれいな水と緑を、次世代を担う子どもたちに残すため、市民一人ひとりが行政と協力し合いながら、環境負荷の低減に取り組むことにしたものです。



### 環境都市宣言

わたしたちは、鹿沼市のきれいな水と緑に恵まれて、豊かな心を育ててきました。

しかし、便利な暮らしを求めるときに限りある資源を使い、こころない人が不法投棄をするなど、わたしたちの自然はおびやかされています。

21世紀になって、わたしたち鹿沼市民は、環境の保全について基本的な考え方をみんなでまとめあげ、きれいなまちづくりを進めているところです。

わたしたちは、共に生きる自然を守りながら、地球の恵みを未来に引き継ぐことを誓い、ここに鹿沼市を「環境都市」とすることを宣言します。

平成16年1月1日

## ②自然との共生を目指す

### 庭園のまち（ガーデンシティ）の推進

都市景観の形成のため「庭園のまち（ガーデンシティ）の推進」を行っています。フラワーロードの整備のほか、個人の庭を開放する「オープンガーデン」を10か所認定しました。



## ①環境問題の意識を高める

### 環境講演会の開催

俳優であり、農業をライフワークにしている永島敏行さんが「私たちは土のある生活を忘れてはいませんか？」と題し、農業を通して感じる環境の大切さを講演しました。

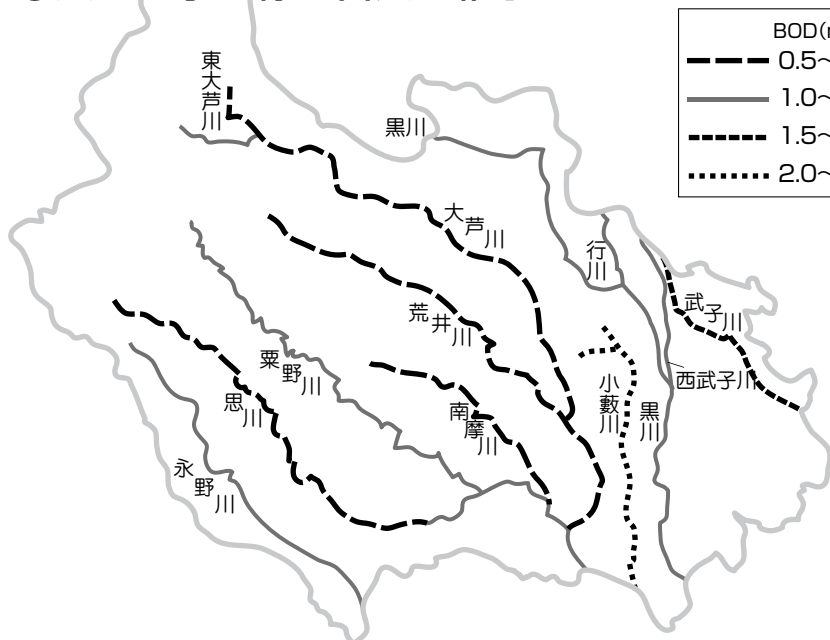


また、きれいなまちづくり標語・花壇コンクール表彰式と環境保全活動事例発表を行いました。

平成20年度 きれいなまちづくり標語最優秀賞  
分別は 家族みんなで 協力を

南押原小 廣田 耀 さん  
身につけよう でかけるときは マイバッグ  
東中 島野 有佳さん

## ③美しい水と緑の自然を継承する



### 12 河川 40 地点で水質検査を実施

黒川や思川など、市内の12河川40地点で水質検査を実施しました。一部の河川で環境基準を超える項目がありましたが、水生生物による水質評価では、ほとんどの河川が「きれいな水」と判定されました。以前に比べて、河川の環境が改善されていることが確認できました。

#### BODとは

微生物が、水中の汚れを分解するとき、必要な酸素の量を表します。この値が大きいほど川は汚れていることとなります。

## ⑤循環型社会への転換を目指す

### ごみ減量の推進

ごみの減量とリサイクルを推進するために平成18年10月から家庭の燃やすごみを有料化しました。その結果、平成20年度の燃やすごみの排出量は平成17年度と比較して4,605トン（15.8%）減少し、リサイクル率は増加しました。

## ④環境への負荷を減らす

### クリーン鹿沼を実施

事業者や地域のみなさんと協力して、不法投棄物の撤去作業「クリーン鹿沼」を実施しました。平成20年度は、38か所で不法投棄物を撤去しました。また、不法投棄防止のために看板を設置して、不法投棄箇所の減少に努めました。



これらの施策の進捗状況は、環境基本計画に関して審議する環境審議会において「おおむね計画に従って推移しており、数値目標は全体として良好な結果」と評価されています。